## ～すべての命を抱く大地の化身たち～

大地は生命の源であり縄文思考の基盤。土を手にすると精霊たちが姿を現し語りかけてくる。
猪風来の手から紡ぎ出される縄文土偶は大地の精霊たちの化身をおおらかに表現したものです。

# 猪風来の母なる地球精霊展

2026年12月6日(日)～2027年3月28日(日)

猪風来の縄文芸術がめざしてきた“大自然と共に生きる未来縄文一万年の創造”。
企画展では、考古学者・故小林達雄氏から伝えられた猪風来への制作依頼、後に事実上の遺言にもなった「火焔精霊像を東京湾に立ちあげたい」という要請に応えて創った新作2点を中心に、猪風来の縄文芸術人生50年の作品の中から選んだ土偶の代表作を揃えてみました。
その時々の思いを象どるテーマと物語を内包した独特な表現・表情をみせる土偶たちは、大地から湧き立つ豊潤でパワフルな生命力に溢れています。いのちの胎動の喜びと出産の感動を創作した生命のシリーズとそれに連なる大地の女神像、更に漆を施した土偶、ラスター彩作品など多彩な技法を用いた作品など一堂に展示します。
母なる地球の命を育む力、生命波動のリズムが壊れてきている今、母なる大地の精霊作品に触れ地球の自然力復活を祈るとき、展望ある未来が拓かれるに違いありません。どうぞご高覧ください。




猪風来美術館
新見市法曽陶芸館
〒719-2552 岡山県新見市法曽609
TEL/FAX 0867-75-2444
http://www.ifurai.jp/

日本唯一の現代縄文美術館。
縄文造形家・猪風来と村上原野の縄文野焼き作品など代表作を200点以上常設展示。生命と魂のデザイン～縄文スパイラルアートを現在直下で展覧。

【開館時間】午前9:30～午後5：00
【休館日】月曜日（祝日は開館し翌日休館）
（冬期12月～2月は月・火曜日）
【観覧料】一般400円/高校生200円